

屋内貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		自衛隊施設の暖房用燃料を保管する								
建築物の構造	階数	1		建築面積	50 m <sup>2</sup>		延べ面積	50 m <sup>2</sup>		
	壁	延焼のおそれのある外壁	コンクリートブロック造		柱	なし		床	コンクリート	
		その他の壁	コンクリートブロック造		はり	鉄骨（耐火被覆）		屋根又は上階の床	石綿スレート	
	窓	防火設備		出入口	特定防火設備	階段	なし		軒高 階高 3.10m	
建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造		階数	/		建築面積	m <sup>2</sup>		延べ面積	m <sup>2</sup>	
架台の構造		スチール棚（アンカーボルト固定）								
採光、照明設備		蛍光灯（耐圧防爆型）1基								
換気、排出設備		自然換気（ガラリ2ヶ所）、自動強制排出設備								
電気設備		電気工作物に係る法令による。								
避雷設備		なし								
通風、冷房装置等の設備		なし								
消火設備		第5種消火設備 3本								
警報設備		加入電話								
工事請負者 住所氏名		〇〇市〇〇町〇丁目〇ー〇 〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇 電話〇〇ー〇〇〇〇								

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。